

## 式 辞

学校長 津波古 廣和

校庭の木々も芽吹き、心地よい南風の吹き渡る季節となりました。晴れやかな春の日差しの中で、PTA会長を始め多数のご来賓並びに保護者の皆様のご臨席のもと、言葉に表すことのできない大きな喜び、大きな幸せ、大きな感動の中で第74回卒業式を迎えることができました。

ただ今、晴れて卒業証書を授与され、卒業式を迎えた第74期生の皆さん、そして、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にとりましては、「和衷協同」の校訓のもと、学業、そして多くの体験を重ね、逞しく成長したご子弟の晴れ姿を目の当たりにされ、お喜びもひとしおかと存じます。心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生のみなさん、小学校、中学校、高校まで12年間の学校生活が今日で終了します。高校に入学してからの3年間、特に、3年生となったこの1年間は、あっという間に過ぎ去ってしまったのではないのでしょうか。これまでの、自身の進路決定に向けての努力、部活動における頑張り、実績、そして校内における様々な学校行事等、いろいろな場面で、1、2年生の良き模範となり、リーダーシップを発揮してくれました。本校の良き伝統として後輩が引き継いでいくものと確信しております。

殆どのみなさんが、小学校の入学以来、今日まで同じ道を歩んできましたが、本日の卒業式を境に、明日より皆それぞれ違う道を歩んでいきます。まさしく、今日は一人ひとりの旅立ちの日と言っても過言ではありません。人はそれぞれに夢があり、そして、夢を達成するため目標を立てます。目標を立てた時、漠然とした夢が現実になっていきます。「マラソンはゴールがあるから42.195kmも走れる。ゴールがなくて、(やめ)というまで走れ、と言われたら、たぶん10kmも走れないと思う」という話を聞いたことがあります。生きる上で最も大事なことは、それぞれのバー(目標)の設定であると強く思います。夢、目標を達成すること、大事なことです。しかし、もっと大事なことは、常に夢、目標を持つこと、日々、努力することです。すなわち、日々を「力いっぱい生きること」「今、この瞬間」を大事にすることです。

みなさんは、今日を境に、明日からこれまでと違った環境で生きていきます。これまで保護されてきた環境と異なり、自らの力で切り開いていかなければなりません。日々、力強く一步一步着実に自分の道を歩んで下さい。皆さん一人ひとりがその知性と個性を活かして、それぞれの場で人の役に立てる立派な人に成長することを期待しております。

結びに、ご臨席の保護者の皆さま、小学校6年間、中学校3年間、高校3年間の12年間の学校生活を日々、育み、見守って下さった今日までのご労苦に敬意を表するとともに、本日のご卒業に対しまして心よりお祝いを申し上げます。

「何事にも自信をもってチャレンジ! 自らの信念でやったことに決して後悔はしないこと! 常に感謝の心を持つこと!」私の信条をはなむけの言葉として式辞といたします。

平成31年3月1日